

道徳教育夏季研修講座①

自己の生き方について考えを深める授業 を実践できる教師になろう

～**深い学び**をつくる内容項目のポイントとは～



今日のテーマはコレだっっ!!

道徳の“深い学び”とは何か、
考えていきましょう!!!



今日の前半は…

前半の視点

「池田先生の授業を見て、
深い学びにつながっているものは何か」
について考える



よりよい授業をつくる

いい授業ってどんなイメージですか？

「おはよう。今朝は、私より早かったわね。」

「はい、今日から学期末試験なんです。」

竹内さんが、いつものとおり通路側のとりの席に座った。竹内さんは私の母と同じくらいの年齢なので話しやすく、すっかり顔なじみだ。竹内さんが通路側の席に座るには理由がある。私より先に下車するからだ。なんでも青果市場で事務をしているらしい。朝の通勤電車には、いつも同じ人が、同じ車両の同じ席に座っているからおもしろい。

昨年暮れに我が家が郊外に転居したので、それ以来、私は五十分間の電車通学をしている。いつも六時四十三分発の電車に乗っている。朝早く起きるのは少しつらいけれど、毎朝、知り合いになった人たちとおしゃべりできるのは、ちょっととした楽しみでもある。電車が発車すると、私はテストのためにまとめたノートを取り出して再確認を始めた。

次の駅で、会社員らしい女性が、大きなバッグを肩からかけ、イヤホンで音楽を聞きながら乗ってきた。「チャカ、チャカ、チャカ……」と、その音楽が私の耳にまで聞こえてくる。片手に菓子パン、反対の手に缶コーヒーを持ち、私の前の席に無造作に座った。私はイヤホンからもれてくる音が気になり、ときどき窓の外の景色を見て気分を転換させた。気を取り直して、まとめノートをひざの上に置き、教科書を出した。

しばらくして、その女性はパンを食べ始めた。朝食なのだろう。缶のふたを開けて、窓の所に置いたので、

(電車の振動でたおれたら困るな。)

と思った。思ったとたんに、コーヒーの缶が、ズーと動いた。電車がカーブしたのだろう。

(あつ、落ちる。)

手が出そうになったが、缶はそのまま落ち着いた。私はまた教科書に目をやった。今朝の電車の運転は何となくあらつぼくて、私の手も二度三度出そうになった。たまらなくなつて、

「あのお、落ちるといけませんから、缶を手で持っていただけませんか。」

年上の人をお願いするのだから、私は努めて丁寧と言った。ところが、聞こえないのか返事がない。パンを食べながら週刊誌を見ている。私はいらだつ気持ちをおさえながらも、教科書に目を通していた。車内はだいぶ混んできた。

突然急ブレーキがかかった。とたんにコーヒー缶はすべりだし、私のひざの上に落ちて床に転がった。飲み残しのコーヒーが、私のノートとスカートをぬらした。とうとう心配していたことが現実になってしまった。



すると、その女性は、

「あらっ、落ちてしまったわ。ごめんない……。」

と言って、やっとイヤホンを外し、バッグの中を探し始めた。

私はすばやくハンカチを出して、スカートのよごれた部分とノートをふいた。

「すみません、よごしちゃって、ごめんないね。電車が急ブレーキをかけるから、いけないのよ……。」

「そうですね。それに私をもっと早く足を引っこめればよかったんです……。」



電車は駅に着いた。その女性は、

「すみませんでした……。」

と、頭をびよこんと下げて、混んでいる人をかき分けるように降りていった。空き缶が、ころころと私の足もとに転がってきたので、拾って足もとのすみの方に置いた。それを見ていた竹内さんが、

「あんた、しっかりしなさいよ……。」

と、強い口調で言ってきた。

「何でもつと強く言わなかったのよ。いらいらしちゃったわよ。だってそうでしょ……、あんたはあの女性に、缶が落ちそうだから手に持つてと言ったでしょ……。それなのに電車が急ブレーキをかけるからいけないんだとは何さ。全く、悪いのはみんな他人様ということになっちゃうよ……。それにその缶だって、拾ってもいかないで……。」

と、よほど気にさわったのか、かつかとしながら話し続けた。

「自分のことしか考えない。自分のしたことの後始末もできない人間が多くなって困るわよ。こんな自分勝手を通ったら、これからの日本の社会はどうなるんだろう。あんたもあんたよ。『足を引っこめればよかった。』なんて言うことはなかったのよ。」

10

つふやき

考えよう

女性の様子を見ていた竹内さんは、
「うしろで歩いてるのだから。」

自分を
見つめよう

よりよい社会を創っていくために心がけなければ
いけないことは、どのようなのだろうか。

4 それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。

5 コーヒー缶が落ちそうになっているときに、「女性」と「私」は、本当はどうすればよかったのでしょうか。それを見て、「竹内さん」は、何と言ったでしょう。考えて書きましょう。

女性

私

竹内さん

6 5で考えたことをもとにして、3人でそれぞれの役を演じてみましょう。

7 本当はどうすればよいのかを、クラス全員で話し合しましょう。

8 今日の学習をふり返って、気づいたこと、感じたことについて話し合しましょう。



人から迷惑めいわくをかけられそうになったとき、相手にそれをどう伝えるかは、なかなか難しいものです。下手をすると、トラブルになりかねないからです。こんなとき、私たちは、どのような点くわんに気をつけて、どのように工夫して伝えるとよいでしょうか。練習してみましょう。

1

「缶コーヒー」(96～99ページ)で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。

2

3人一組になって、「女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。

3

役を交替こうたいしながら、全員が全ての役を演じましょう。



竹内さん

私

女性



缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう

よりよい授業をつくる

どんな授業をイメージしましたか？

道徳学習指導案

京都市立藤森中学校

- 1 指導日時 令和3年 月 日(月) ○限
- 2 指導学級 3年 各教室
- 3 主題名 C(10)「道徳精神・公德心」
- 4 資料名 「缶コーヒー」教科書P.~35
- 5 主題構成の観点 省略
- 6 ねらい 登場人物の言動についての話し合いを通じて、公共の場での決まりの意義を理解し、決まりを守ることの大切さを自覚するとともに、みんなが安心して過ごせる社会を築こうとする心情を育てる。
- 7 授業の展開

「缶コーヒー」はもう読んで済んだか
 相手と怒らないうまが守れる
 ぶつにぶつ、ぶつにぶつ
 今回のルールはもう読んで済んだか
 今回のルールはない

学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	これまでに、公共の場で不快な思いをしたことがあるか。 ・電車で座席をふさぐ人がいる ・バス内で大声で電話をする人がいる	公共の場…バスや電車の中などであることを補足してもよい
展開①	発問①竹内さんは何に腹を立てているのだろう 話の内容を整理する	先に発問を提示する
教科書範読 ワークシート	発問②コーヒー缶が落ちそうになっているときに、「女性」「私」「竹内さん」は本当はどうするべきだっただろう ・女性：もっときちんと謝るべき ・私：もっと相手に抗議すればよかった ・竹内さん：自分自身でも女性に注意するべきであった □-70にしても...!	必要に応じて補助発問を活用する (補助発問) 電車を降りて行った女性はどんなことを考えていただろう ・本当に急ぎの用事があったかもしれない ・大変なことをしてしまった ・悪いのは自分ではなく、ブレーキだ ・相手の女の子に悪いことをした。 ・竹内さんの「これからの日本はどうなるんだろう」という言葉に注目させて、よりよい社会の創造について考えさせる
メモ	公共の福祉の考え方 →ほかの人の迷惑になることは、たとえ個人の自由でも制限される場合がある	怒り、アホな女? 評価 場面 二つが同じ内容の話し合いか?

	発問③ よりよい社会をつくっていくために心がけなければならないことは、どのようなことだろう ・なんでも無難にやり過ごすのはだめだ ・言うべきことは言わないといけない ・相手の気持ちも考えながら言わなければいけない ・きちんと謝ることが大事 ・相手を許すことも大事	・竹内さんの怒りもわかるが、強く相手を責めるばかりでは問題が解決しないことにも目を向けさせる ・注意の仕方によっては、お互いが嫌な気持ちになったり、逆に安心して気持ちよく過ごせることに気付かせる
終末	まとめ 振り返り	

C 主として集団や社会との関わりに関すること

10 遵法精神、公德心

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

(小学校) [規則の尊重]

〔第1学年及び第2学年〕 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

〔第5学年及び第6学年〕 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

5A1-
二通呼称!!

全回
自分の主
(ルール守り)
+
(自分)

1.2年 守りま → 守り? → 自由守りま!!

第3章
道徳科の
内容

(1) 内容項目の概要

社会があれば何らかのきまりがある。法(法律)は国会が定めるきまりであり、例えば、財産や家族などに関わる一般的なルールである民法、犯罪とそれに対する刑罰を定めた刑法などがある。人間が集まって社会が形成されると、「私」と「私」の利益がぶつかり合って集団のまとまりがなくなり、結局一人一人の願いが実現できないことがある。「法やきまり」は、この集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものであることや、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されるということを理解することは大切である。最も基本的な自由である身体の自由にしても、身体を維持するための衣食住にしても、それらを所有することを社会が承認していることによって支えられている。無法状態になれば、自由は保障されない。自分の欲望のままに生活することを制限するものとして法を捉え、仕方なく法に従うのは、進んで守るということではない。

遵法精神は、公德心によって支えられている。公德心とは、社会生活の中で守るべき正しい道としての公德を大切にする心である。一人一人の日常生活の中で具体的に生かされることで、住みよい社会が実現できる。法やきまりについては、その遵守とともに、一人一人が当事者として関心をもつことが大切であり、適正な手続を経てこれらを変えることも含め、その在り方について考えることが必要である。また、他人の権利を尊重し、自分の権利を正しく主張するとは、互いの権利の主張が調和し両立できるようにすることである。自らに課せられた義務を果たすことが、結果として規律ある安定した社会の実現に貢献することになる。義務とは、ここでは人に課せられる法的拘束であり、自分の好き嫌いに関わりなくすべきことである。

おかし
いしや
あ!!

自守!!

なお、国際的な関係においても法やきまりの遵守が求められており、「国際理解、国際貢献」にも通じるものである。

(2) 指導の要点

小学校の段階では、特に高学年で、法やきまりの意義や権利を大切にし、義務を果たすことの意義について学んできている。

中学校の段階でも、入学して間もない時期には、法やきまりに従えばそれだけでいいと考え、「ルールだから守る」と法やきまりを他律的に捉えている生徒が多い。学年が上がるにつれて、社会の中で生きているという自覚も深まり、法やきまりについてその意義を一層理解することができるようになる反面、法やきまりは自分たちを拘束するものとして反発したり、自分の権利は強く主張するもの、自分の果たさなければならない義務をなぞりにしたりする傾向も見られる。

指導に当たっては、まず、法やきまりは自分自身や他者の生活や権利を守るためにあり、それを遵守することの大切さについての自覚を促すことが求められる。自他の権利を大切にし、義務を果たすことで、互いの自由意志が尊重され、結果として規律ある安定した社会が実現することを理解した上で、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育て、日々の実践に結び付ける指導が必要である。その際、法やきまりを守ることは、自分勝手に放縦な反発等に対してそれらを許さないという意味をもつことと表裏の関係にある。

さらに、法やきまりの他律的な捉え方を越えて、「尊重したいから守る」という自律的な捉え方ができるようになるため、遵法精神には、「自分を裏切らない」という自尊心と、目の前の相手の心情に思いを巡らせ、外見からはうかがい知れない人の心情を想像できる思いやりの心が関わっていることに気付かせる指導が求められる。また、高等学校段階への発展を踏まえて、自分たちを拘束すると感じる法やきまりが自分たちを守るだけではなく、自分たちの社会を安定的なものにしていることを考えさせ、よりよいものに変えていこうとするなど積極的に法やきまりに関わろうとする意欲や態度を育てるとともに、権利と義務の関係について、例えば法的に強制力のない義務を果たすことが理性的な人間としての生き方につながることを考えさせるなど、公德心に関わる道徳性を意識した指導の工夫が必要である。これらのことを踏まえて、自分たちが社会の構成員の一人であることの意識をもちながら、「私」を大切にすると「公」を大切にする心の関係について考えを深めさせることが望まれる。

理解は
わかって
嫌!!

3者3様の
反発!!

自分守り
は!!

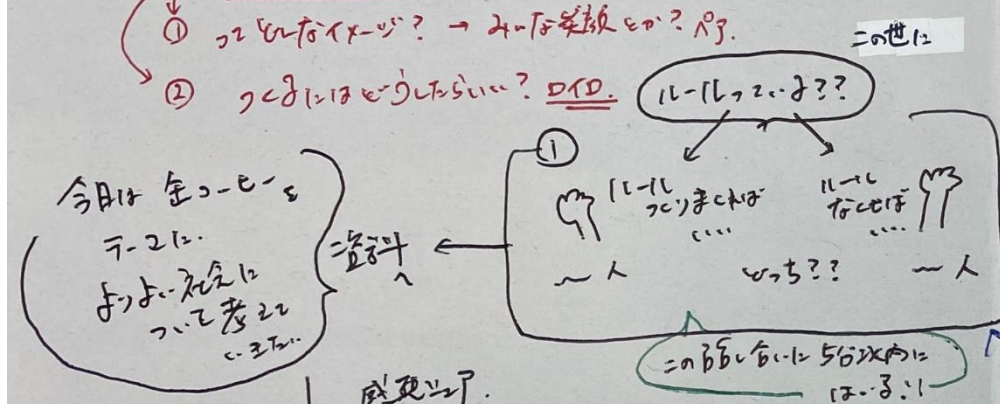
2
内容項目の
指導の観点

自守!!

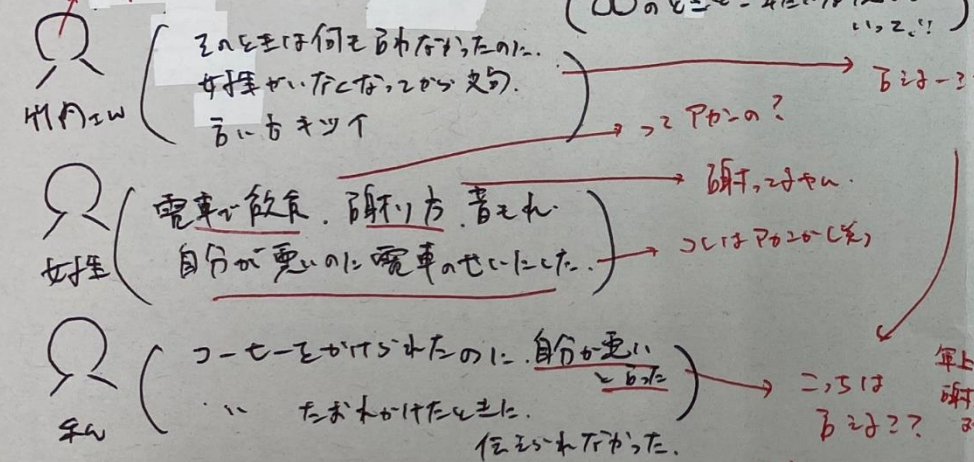
守りま
たか??

「よりよい社会を」

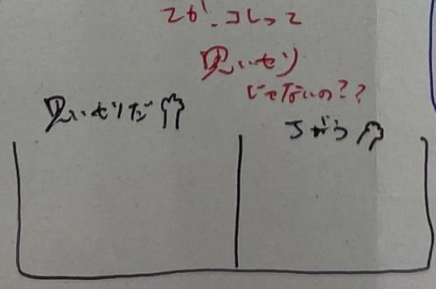
- ① 2020年代は? → 40代前後? 50代?
- ② 70年代は? 80年代? 90年代?



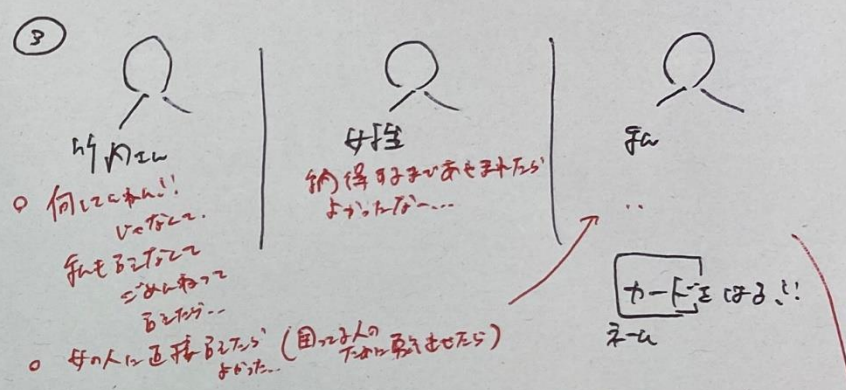
③ 20代... 50代... (OOの世代は... 感じ...)



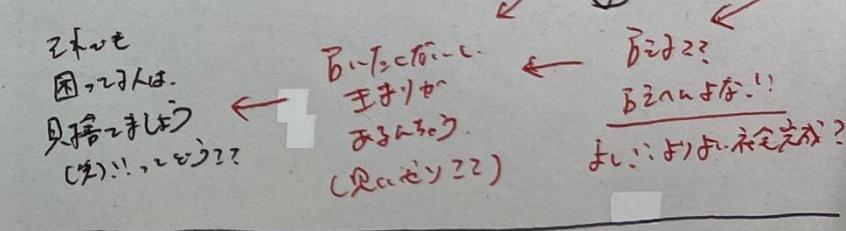
停滞... 阻害... (笑)



「よりよい社会」の中-2-は誰だ?? 何??



④ 3人の誰が... 誰が... 誰が... (OOの世代は... 感じ...)



⑤ ②と③... 誰が... 誰が... 誰が...

⑥ よりよい社会の作り方!! 先生に教えてくれ!!

⑦ 70年代 → 10年前とどう変化したか??

戻る 3年3組 遠徳 提出箱

新しい提出箱を作る

募集中

よりよい社会をつくる... あと2分

2022年6月16日 締切

思いやり

2022年6月9日 締切

理想の家族とは

家族

2022年5月12日 締切

脳

今一番成果を出したいこと

2022年4月28日 締切

よりよい社会をつくる方法		
提出順	回答共有中	一括返却
福田 みあ	畑下 卓摩	宮本 幹大
ルールを守る	みんなが互いを思いあって暮らす	頑張れば頑張るほど得するようにする
6月30日 13:21	6月30日 13:21	6月30日 13:21
大山 叶乃	川田 菜々未	稲田 昭人
みんながすべてのことに興味を持つこと	がんばる	外国の理解を深め、交流する機会を増やす。
6月30日 13:21	6月30日 13:21	6月30日 13:21
西田 我空	小林 隆馬	堀江 凌央
みんなが安心できる場所	相手一人一人を思いやって行動し、それを大切にすることが	みんなががんばる
6月30日 13:21	6月30日 13:21	6月30日 13:21

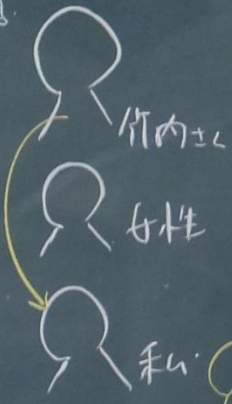
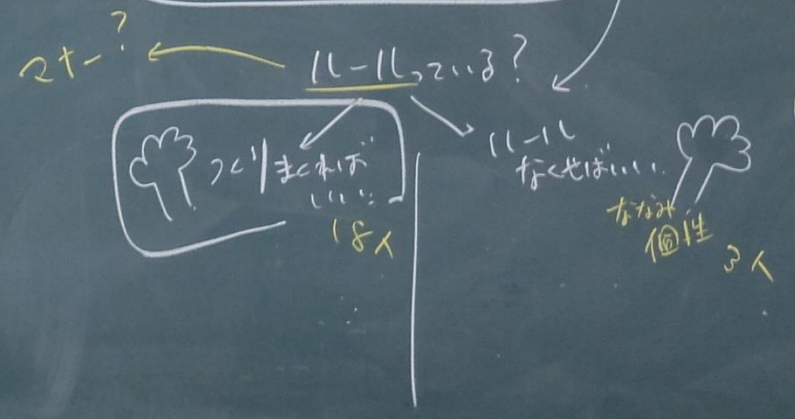
テーマ 「よりよい社会をつくる」

飲み水がある... 人権が尊重
自由にできる → 人殺し...

俺が
みんなのために
社会が豊かになる

P.96

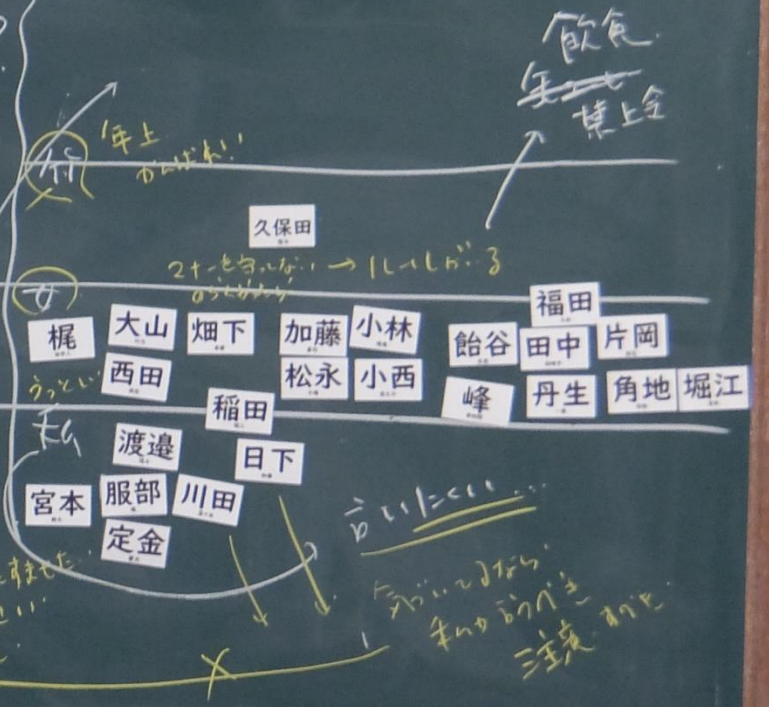
キーマンはどこ?
(カギを握っている人)



見ての通り... 「私」に気づく? 「私」?

飲食 × カバンを席に置く...
マナーが悪い... 他人に

相手が悪いのに自分だけが...
(女性)
705人, 年上



授業を見る際の視点

「深い学びにつながっているものは何か」

ブレイクアウトセッション①（10分間）

①自己紹介

「学校名・お名前」

②前半の視点

「池田先生の授業を見て、
深い学びにつながっているものは何か」
について話し合う。



協議内容の共有

前半の視点

「池田先生の授業を見て、
深い学びにつながっているものは何か」



池田先生に質問!!!!



①今回、うまくいったところは？

②今回、生徒の反応で
おもしろかったところは？

③今回、うまくいかなかったところは？

教師の自己価値
価値 価値
価値 価値

6/19

道徳の本質

本

「子どもに何を教えるか」

P.86

「子どもと共に創る」の楽しさ

授業

授業の楽しさ

先生の間で (説明)

(x-4)?

相対的価値

眼心
耳心

No!!

子どもと共に
無の子ども
最後!?

新しい New

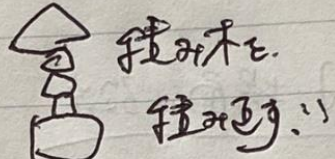
教師の
思い

教師は何度か繰り返す (反復) 学習
追求、理解、重なり

教師の価値
子ども

正解主義

今の節の大切さ
〇〇は大切だから



今の価値
〇〇

P.94. 教師の価値とは。以前のとは変わってきた。
それは問題。今の節、子どもは自分。以前のとは違う

今、世界をどう
見ようか？

ex) ↓
家族について
どう見ようか？

① 1x-2は？ → 1x-2 (重なり) (たまり)

② 間い文章) にあえり → (重なり) (たまり)

③ 1x-2 (重なり) 極論

比較 対して 対して... 二項対立にも、いい (1-2は、135も正解ではない)

重なりか、100%か、150%か、文字対文字 (1-2は、150%か)

極論、見ても

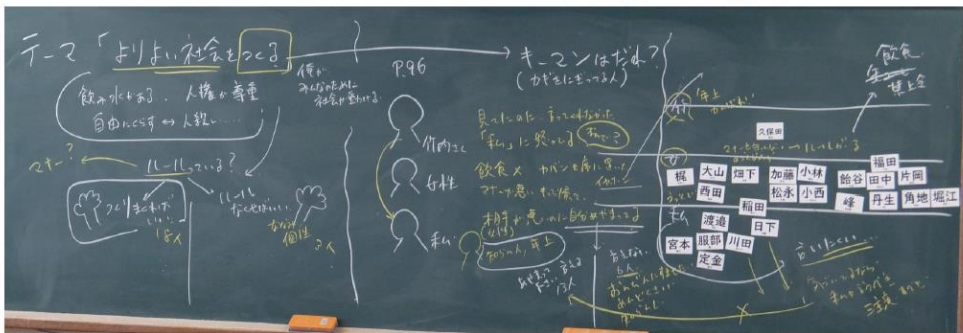
④ 間い文章) にあえり (重なり) (たまり)

⑤ 子|か|え| (1-2は、150%) 自分事には

→ ⑥ 通信が1x-2

(経路の再構成 → 世 見れば世界が作り変えられる) p.102

道徳と違うな人生と思え～缶コーヒーから考えるよりよい社会の作り方～



まずは、いつも以上に真剣に取り組んでくれてありがとう！！みんなの個性（人柄）あふれる最高の授業やったな～と思います！！何より、池田自身、授業してていっぱい悩んだし、考えたし、楽しかった！！

（**隆馬**が、**綺麗ごと**やと思いますって手あげてたのが一番笑った！

素直に言える雰囲気が好きやわ～）

そしてそして

みんなの感想…**めちゃくちゃおもしろい！！！！！！！！**

これからみんなは、ルールやマナーを**守る・守らない**はもちろん、ルールを

作るかどうか。どんなルールにするかを**考えていく**立場になっていきます。

（職場のルール、家族のルール…）

そのときに、「**あの人が悪い！**」で終わらせるのではなく、あの人は**どんな**

気持ちやったんだろう？って**想像**する**余裕**があったらいいな～って思います。

（だから想像力も大切やし、イライラしない心の余裕も大切（ストレスコントロール））

今までみんなが生きてきた人生のいろんな考えとつながる1時間だったなと思います。

みんなと一緒にあーだこーだ考える道徳の時間が大好き！！

始谷 朱里	ルールはわざわざ作らなくてもいいと思うけれどみんなが相手のことを考えてマナーを守って行動して行くことが大切だと思いました。
福田 昭人	マナーというのは決して破ってはいけないというものではないと考えが浅いひとはたくさんいると思った。なのでマナーをルール化するなど厳しくしていく必要があると思った。
大山 叶乃	まず、こういうマナーがない人は、何を言っても聞かないと思うし、聞いてたらもうマナーのいい人になってくると思うから、注意をするのもいいけど、自分で気づけるような環境を作っていけばいいのになと思った。
角地 悠佳	思いやりだとか気遣いだとかが大事って言うんだろうなと思ってたが人によって色々な意見が出ていて面白かった。「私」が注意すればよかったんじゃないかとか別の席座に行けばとかの意見も納得した。でも、竹内さんがなんとかするというのは場合によると思う。竹内さんが本文中で「私」いろいろな言っていたからそれなら竹内さんがなんとかすればいいとは思ってたけど、年上だからとかは違うと思う。年上といえど竹内さん本人は第三者で関係のない人だから。結局手っ取り早いのはルールを作ることだと思う。すべてにおいて取り締まって機械的な生活をすればこんなことは起きないから。それに対して自由だ個性だとか言うから中途半端なルールになって結局解決せずに終わる。ほんとはよりよくしたいなら取り締まるべきだと思う。
梶 由宇人	一時間前と変わらない。ルールを作れば一番早いと思う。ルールがあるといい根拠をもって注意することができる。マナーだから通用しない。マナーはルールと違って重い感じがあまりないため効果が薄いと思う。だからルールを作り罰を設けることでやめる人が増えると思う。Don't think feel.
片岡 梨花	やっぱりルールは必要だと思う。でも、罰金まで強くなる必要はないと思う。例えば、京阪やJRなどの電車の中にポスターが貼ってあるように、注意書きを電車の中に貼っておく。または、みんながその人のことを冷たい目で見たら、多分もうしなくなると思う。
加藤 蒼司	よりよい社会を作るうえでどうしたらいいのかはルールにしても取り締まる人がいないし今回の授業の教材もそれぞれに悪い点があったと思う。よりよい社会にするためにマナーがあるのにそれを守れないし考えられない人がいるなら小学校や小さいころからだめだとしっかり教えればいいと思う
川田 菜々未	みんなが幸せに生きたらそれでいい
久保田 悠斗	ルールを作る必要があると思うびこず大切だから
日下 和奏	難しいお話だった。ルールを作るのは大事だけど、その内容がもっと大事だと思う。梶君が言ってた「飲食禁止令」は私は反対です。私みたいに長時間電車に乗る人に「飲み物を飲むのを我慢しなさい」と私は言えない。それに、新幹線みたいに全員が前を向いている座席の形で隣に誰もいなかったり、混んでなかったりしたら、食べてもいいと思ってたので、なんでもルール付けるのは違うなと思った。でも、ルールないのはいないで迷惑な人が増えるから、難しいなと思った。
小西 亮之介	最初はよりよい社会を作るために自由だったらいって思ってたけど今日の授業でよりよい社会を作るためには多少のルールも大事だとおもった
小林 隆馬	やっぱりよりよい社会を作るには、色々なものの見方をしてみても今回出てきた三人の立場に三人が立てて考えてみると答えが見えてくると思う、自分の考えだけを相手に押し付けるのではなく、相手も意見を受け入れたうえで考えていくことが一番大切だと思いました。
定金 愛大	よりよい社会を作るためには一ををつくりそれをみんなが守らばいい
田中 彩映子	今日の話の中でも三人ともに改善点はあるから、これから誰かともめたり意見が食い違うことはあっても、自分に悪いことがなかったか見直すようにしようと思った。
西田 我空	みんなが共通認識が必要 ルールは必要やけど、やりすぎるといけないと思った
丹生 一葉	マナーが常識でそれをしていない人がいるならルールはいいと思った。 みんなができるならルールはいいと思った。
畑下 卓摩	自由が大事であるけど、自由にするためにはマナーを守る必要がある。でも、マナーが守れないからルールで強制的にさせることが必要になると思う。だから、マナーを守ることで自由を守ることにつながって、ルールのないきれいな世界になると思う。
服部 颯	自分の考え方と他人の考え方と比べながら考えているとじぶんの考え以外の視点を見て面白かった。自分的にはルールは必要だが悪いと思わない限り自分の考えを肯定してしまう落ち度があるので悪いはそれを逃避する人間だと思った。自分に疑い深く確信を持てる行動を普段から心がけたい
福田 みあ	ルールが必要という考えは1時間前と変わらないけど、なんでもルールで縛るのは違うなと思った。今回の話みたいなことが自分の身に起こったときに、自分なら席を移動するか、女性に缶を近づけるか、イヤホンで聞こえないのをわかっているからトントんってして声をかける。あと、相手が悪いときに謝らない。
堀江 凌央	優しい心を持つ
松永 千晴	一時間前と「思いあう」という考えは変わらないけど、よりよい社会を「作る」というのは、ルールをたくさん作るのが正解なのか、なくすのが正解なのかあまり、はっきりしなかったです。
峰 幸四郎	この世界、綺麗事だけでは、よりよい社会を作る事は、できないということが分かった。
宮本 幹大	嫌なことがあったら相手が悪ければ謝らせればよかった。
渡邊 琉斗	よりよい社会をつくるには、今日の話にでてきた女性みたいに自分がしていることがおかしいって気づけない人もいるから、そのことを注意できる人がいないとよりよい社会はできないと思う。だから、おかしいことは注意できるようにしたい

ブレイクアウトセッション②（10分間）

今回の授業を見て、
「自分なら、この授業をどう進めるか」
について話し合う。



岡田が思う, こんな展開もありだっっっ!!!!

どの発言を拾って, 広げていくか
ということで授業は変わっていく!!



岡田が思う, こんな展開もありだっっっ!!!!

★竹内さんを増やせばいい

↓

どんな人が増えればいい?

↓

じゃあ, そういう人がいなかったら,
よりよい社会にはならないのかな?

岡田が思う, こんな展開もありだっっっ!!!!

★なんで飲食禁止令を作ったらダメ?



①今の日本でルールになっているもの,
なっていないもののちがいで何?

②もし今回, 不慮の事故だったら
どうだろう?

これで前半は終わりです!!

10分間の休憩です
開始は : です



今日の後半は…

後半の活動

「深い学びにつながる授業を

実際に作ってみよう」



ブレイクアウトセッション③(30分間)

- ①教材の中心になるところの共有
- ②書き方にそって、本時のねらいの設定
- ③本時のねらいに迫るための
中心発問の設定

ブレイクアウトセッション③（30分間）

①教材の中心になるところの共有

この教材の中のどこが中心になって
いるのか、グループで共有してください。

ブレイクアウトセッション③（30分間）

②書き方にそって、本時のねらいの設定

<本時のねらいの書き方>

教材の活用部分や「ねらい」に迫るための「中心発問」、「学習活動」を通して、

本時の内容項目や指導の観点、「ねらい」の核心（しよう）とする、

道徳的

判断力を培う

心情を育てる

意欲を高める

態度を養う

（この4つの中から選んでください。）

本時のねらいの例

【1年：「看護する」仕事】

主人公の働く姿を通じて、

働くことの意味ややりがいについて理解し、
自分の将来の生き方について考えを深めようとする

道徳的意欲を高める。

ブレイクアウトセッション③(30分間)

③本時のねらいに迫るための 中心発問の設定

設定した本時のねらいに迫る
中心発問を設定しましょう。

ブレイクアウトセッション③(30分間)

- ①教材の中心になるところの共有
- ②書き方にそって、本時のねらいの設定
- ③本時のねらいに迫るための
中心発問の設定

協議内容の共有

- ①教材の中心になるところの共有
- ②書き方にそって、本時のねらいの設定
- ③本時のねらいに迫るための
中心発問の設定

質疑応答, チャットで募集中…

道徳の“深い学び”って何だろう？



ありがとうございました!!!

2学期の道徳、
生徒と一緒に楽しくしたいですね!

